

# 学校教育アンケートについて

令和7年度も残すところ、あとわずかとなりました。日頃は、本校教育にご理解とご支援を賜り、厚くお礼申し上げます。子どもたちは、自分の目標を決め、学習、生活にともしっかり取り組み、新年度への準備を着実に進めているところです。保護者の皆様には、本年度も学校教育に関するアンケートにご協力をいただきありがとうございました。ここに、学校自己評価（児童、保護者）の結果及び考察しましたことをお知らせします。今年度の評価結果から、学校の教育活動を検討し、指導内容・方法の工夫改善を図り、子どもたちが生き生きとした学校生活を送れるように努めてまいります。

## 学校教育に関する児童アンケート結果

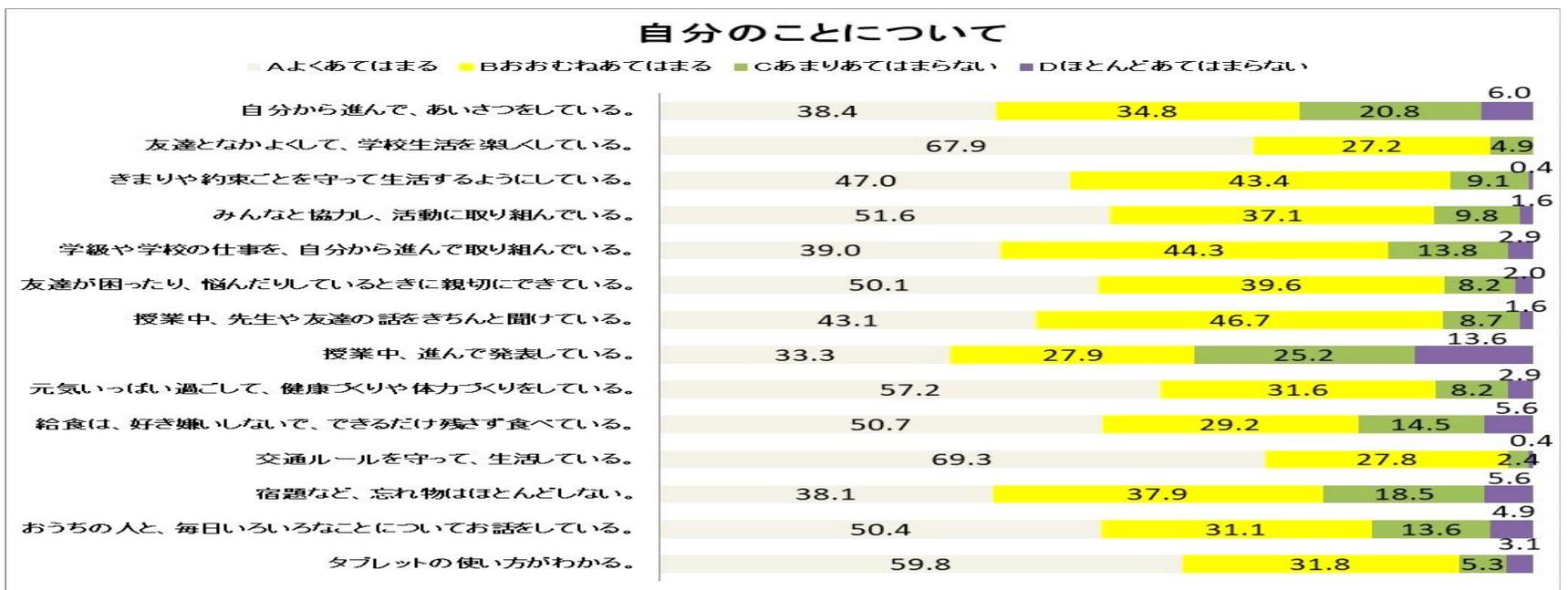
### 1. 児童アンケート調査結果

#### I 学校や先生のこと



- ・「行事」及び「ルールやマナー、人権」について、肯定的な回答割合は90%以上となっている。しかし本年、「学校生活」は、わずかではあるが90%に達しなかった。児童理解をこれまで以上に進め、すべての子どもが楽しいと答えられることを目標に次年度は、発達段階を見取り、学習・生活・仲間へのアプローチを分析・検討し、重点の見直しを図りたい。
- ・「授業」については、約84%が肯定的に答えているが、昨年度より1%下がっている。次年度は、肯定的な割合が高まるようさらに授業改善を行い、わかる楽しみを実感させていきたい。
- ・「児童理解」については、約90%が肯定的に答えているが、そうではない児童もいる。その児童が安心して生活できるような場づくりに努め、信頼関係を築いていく必要がある。

#### II 自分のこと



- ・肯定的に答えた児童の割合が80%以上の項目が10項目あり、かなり高い評価結果となっている。しかし、「発表」については、昨年同様肯定的に答えた児童が70%にも達していない。発表が苦手な子が発表しやすくなるように、グループで話し合っ発表する機会を意図的に設けたり、隣の人と話し合ったあと発表させたりする等、表現活動を充実させ、コミュニケーション力の育成に努めたい。
- ・「進んであいさつする」の児童アンケートの結果から肯定的に答えた児童の割合が約73%となった。全校で様々な取組を実施してきているがまだ十分とはいえない。委員会や6年生によるあいさつ活動、各クラスで「あいさつ隊」等の取組を実施し、次年度も重点課題として取り組んでいきたい。
- ・「忘れ物」については、まだ課題が残る。「忘れ物」は学習意欲が低下することも考えられ、自ら忘れ物をしないように取り組んでいけるような働きかけがさらに必要である。また、学校からの情報発信等を積極的に行い、家庭と連携して宿題をする習慣を身に付けられるようにしていきたい。家庭での会話につながるようにしていきたい。
- ・学校生活における友達との関わりでは、「仲よく」は、約68%が「よくあてはまる」と答えており、その他の項目と比較して高い結果となっている。今後も具体的な行動をほめることによって一人一人の自己肯定感を育み、さらなる実践力を身に付けさせたい。
- ・「体づくり」の項目については、「よくあてはまる」と答えた割合は高く、自己管理を啓発してきた取組の成果と考える。今後も、健康づくりの認識を高め、家庭と連携した体力づくり・食育を推進したい。
- ・自分のことの評価に、「ほとんどあてはまらない」と回答した割合が数%ある。この割合を見逃すことなく、基本的な生活習慣をはじめ、規範意識、関わり等社会性を身に付けていけるよう、常時活動の充実はもとより、仲間づくりを進め、家庭との連携も一層推進していくことが重要と考える。

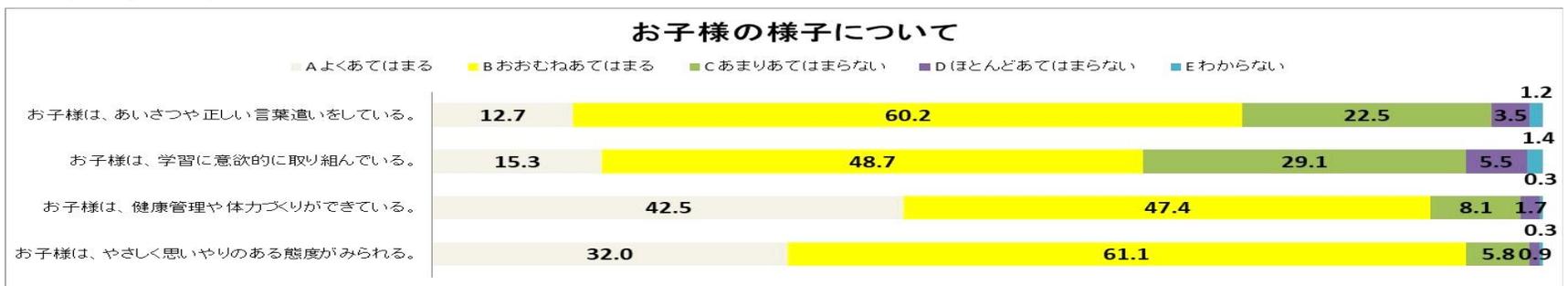
# 学校教育に関する保護者アンケート結果

## I 本校の教育



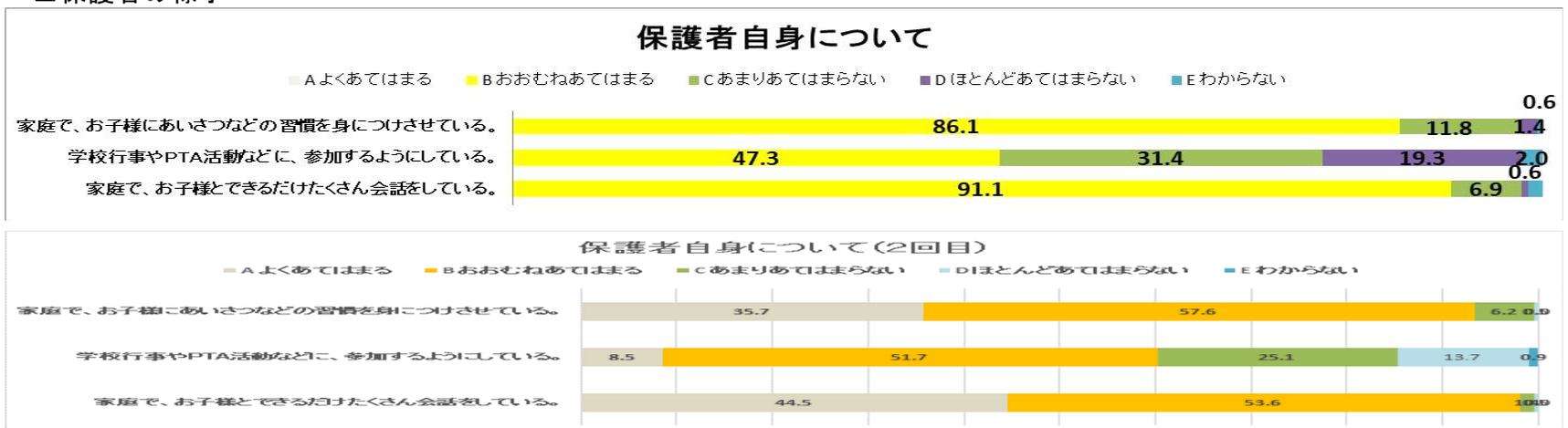
- 本校の取組に対して、肯定的に答えた保護者の割合は、2つの項目を除いて残りの項目は80%を超えており、学校運営については昨年同様高い評価結果となっている。
- 評価が高かった項目は、「行事の内容」「保護者に出す文書・連絡」「相談対応」であった。しかし、「わかる授業」については昨年度より約4%下がっている。子どもたちにとって、授業がわかることが学校が楽しいと思えることにつながる。一人一人に応じた、きめ細かな指導を進め、子ども自身が学習に対する達成感を感じることで、自主的・積極的な学習になるよう取組を継続したい。また、今後も、保護者とともに子どもたちの成長を支えられるよう情報交換を密にし、連携・協働して取り組む必要があると考える。
- 「様子や内容の周知」については、肯定的に答えた保護者の割合が昨年同様80%に達しなかった。ホームページや学校だより、メール等で情報発信し、学校生活について啓発を進めていきたい。家庭や地域と共同歩調で子どもの成長を支えられるようさらに改善を図りたい。
- 次年度も「児童理解」を教育の中心に据え、重点的に取り組んでいきたい。
- あいさつをはじめとした「生活指導」は、日々の常時指導とその場面や機会での指導が必要であり、家庭や地域との連携も欠かせない。引き続き、保護者との連携を深め、子どもたちの様子について具体的に情報交換をしていくことで指導の改善を図りたい。

## II 子どもの様子



- お子さまの様子について、「あいさつや言葉遣い」「学習意欲」の肯定的な割合が低く十分とは言い難い。これまでも、重点として取り組んできた「あいさつ・言葉遣い」ではあるが、今後も継続していくことが重要である。学校と家庭で連携して言葉を正していき、さらに地域に広げる仕組みづくりを工夫したい。来年度も学校運営の柱として重要な項目と考え取り組んでいきたい。また、「学習意欲」についてはまず、保護者との連携を密にし、児童の頑張りを認め褒めてもらえるようにしていきたい。わかる楽しさや喜びが味わえるような授業改善を行い、新しい知識や技能を習得させ、家庭で自主的に宿題や自主学習をすることで、家庭学習の習慣化につなげていきたい。
- 「体力づくり」「思いやり」の項目で肯定的に答えた保護者の割合が高かった。「体力づくり」については、4年生以上の放課後の体力づくりへの積極的な参加が非常に多かった。休み時間などに外遊びをする児童も多く、今後も継続して、体力づくりや適切な健康管理を進めていくことが重要である。また、「思いやり」の項目では、これからも一人一人の自己肯定感を高め、物事に対して素直に受け止める心や困っている人に優しく接する気持ちなどを育てていきたい。

## III 保護者の様子



- 今年度も、運動会等の学校行事やPTA活動が全て実施できた。ただ、肯定的な割合は大変低く保護者の方に進んで参加してもらえるよう、子どもと一緒に楽しく活動できるように改善していきたい。また、出たくても時間的に難しいことや役員・運営負担も気になるところであり、今後の在り方や運営上の工夫についても検討していきたい。
- 「子どもとの関わり」では、昨年同様高い割合であった。家庭教育の重要性を認識し、地道に取り組んでいる様子が見え、学校での様子や興味のあることについて、家庭で会話することが、子どもたちの気持ちの安心・安定となり、好ましい生活習慣の定着にもつながると考える。

### アンケート結果のまとめ

本年度も、全ての学校行事やPTA活動を実施することができ、保護者及び地域の皆様に数多く参加していただきました。しかし、本年度も早く行事の予定を知らせてほしい等の要望もあり、今後はさらに、学校便りや学年便り、メール等を通して、早く確実にお知らせできるように取り組んでまいります。また、子どもたちにとって、学校は大切な学びの場です。学習意欲が高まるよう、わかる楽しさや喜びが味わえるような授業改善を行い、新しい知識や技能を習得させると共に、保護者との連携を密にし、児童の頑張りを認め褒めてもらえるようにしていきたいと考えています。さらに家庭で自主的に宿題や自主学習をすることで、家庭学習の習慣化につなげていくことが重要だと思っています。

児童アンケートでは、肯定的評価の高い結果となりましたが、「意見の発表」「あいさつ」の項目は、まだ課題として挙がっています。発表が苦手な子が発表しやすくなるように、グループで話し合っ発表する機会を意図的に設けたり、隣の人と話し合ったあと発表させたりする等、表現活動を充実させ、コミュニケーション力の育成に努めたいと考えています。また、「忘れ物」についても課題が残ります。忘れ物があると、授業に参加しにくくなり、学習意欲の低下にもつながります。子ども自身が忘れ物をしないという気持ちをもつための手立てが必要で、家庭とも連携しながら、継続して取り組んでいきたいと考えます。

保護者アンケートでもかなり肯定的評価が高い傾向が見られました。しかし、「様子や内容を知らせる」「行事への参加」の項目は課題が残っています。機会あるごとに情報発信することで学校教育についての理解を深めていただこうと思います。また、子どもと一緒に楽しく活動できる魅力的な行事に改善していきたくと考えています。今年度の評価結果を受け止めて、子どもたちが安心して学校生活を送り、楽しく元気いっぱいの活動ができるよう、学校教育活動の充実を図る取組を行ってまいりますので、引き続き、本校教育へのご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。